

立山風

nagasaki
higashi
information



よき世を創る若人を育てるために
長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校

長崎市立山5丁目13番1号

TEL 095-821-4642 / FAX 095-823-5472

URL <http://www.ncws.ed.jp/higashi-h/>

長崎東通信 第329号 令和6年9月30日発行

中
高

体 育 祭

今年度の体育祭も昨年と同様、観客人数制限なしで実施され、大きな歓声のもと、生徒たちは全力で競技に参加することができ、大変盛り上がりました。

今年度も、準備期間から本番まで天候に恵まれた体育祭でした。生徒たちはお互いの考えや意見を尊重しながら日々練習に取り組み、本番ではレベルの高い応援合戦やブロック演技をはじめ、各種目で熱い戦いが展開されました。また、閉会式では立木校長先生へサプライズで全校生徒から感謝状を贈り、校長先生が感動される場面も見られました。その後の後夜祭では、東高の伝統でもある花火も打ち上げられ、疲れている中にもホッとするひとときを過ごすことができました。

今回も生徒たちがいろいろなアイデアを出し合い、一生懸命に走り、跳び、踊る姿は、見ている人に勇気と力と感動を与えてくれました。きっと長崎東の生徒なら、これから待っている困難を必ず乗り越えてくれるだろうと改めて感じた一日でした。



8月28日(水)、高校の文化祭を本校校舎にて開催しました。台風10号の影響により、当初予定していた長崎ブリックホールでの開催ができなかったことは残念でしたが、各クラスのステージや展示での発表、吹奏楽部やダンス部、書道部のパフォーマンス、文化部の作品展示、有志の発表など、生徒たちは1日間のみという限られた時間とスペースを工夫しながら文化祭を満喫していました。この機会に培われた柔軟な発想を日頃の学校生活でも生かしてほしいと思います。中学校の文化祭は、10月11日(金)に開催予定です。



高校生のための文化講演会

9月18日(水)2、3校時に、小説家の奥山景布子(おくやまきょうこ)先生をお迎えして、『「源氏物語」と紫式部』という演題で「高校生のための文化講演会」を開催しました。(主催 長崎新聞社、公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会)奥山先生からは、源氏物語の書かれた背景や、紫式部の魅力として「常識への違和感、疑問」「批判力」「洞察力・共感力」があり、そこから現代を生き抜く力を学ぶことができるという内容をとてもしっかりとお話していただきました。生徒からも、枕草子と源氏物語の違いや、古典を学ぶ意義、小説の書き方などについて活発な質問がなされ、とても有意義な時間となりました。

生徒支援部より

掃除時間後に残された通路の埃、ゴミ箱下の紙屑。この現象には理由があるのかもしれませんが、「環境への無関心」がその原因でないことを願いたいものです。

東風の道の草刈りをしていた折、鬱蒼たる茅の茂みを切り開くと十数年前の卒業生の植樹記念碑が出てきました。傍に植えられたツツジは雑草に覆われ、日光を遮られて葉の生育が悪く、枝は枯れ気味でしたが、根元には新しい葉が弱々しいながらも芽吹いていました。ツツジの花言葉は「慎み・努力」。光を求めて懸命に生き続ける姿に、花言葉そのままの自然の力を感じました。

校舎の敷地には、桜や梅、楠も記念樹として多く植えられています。桜の花言葉は「純潔」、梅は「気品」、楠は「芳香」。どれも美しく、未来のある若者にふさわしい言葉ばかりです。先輩達は記念樹に学び舎での思い出を託しつつ、後輩達には花言葉のようにあってほしいと願っていたのかもしれませんが。手入れをしなければ植栽は痛んで枯れるように、清浄な空間を維持する努力をしなければ学校は汚れて荒れていきます。卒業生の思いを受け継ぎ、未来につなぐためにも、皆で校舎を大切にしましょう。

9月11日(水)の6, 7校時に、長崎大学による高大連携出前講義を実施しました。長崎大学の多くの学部学科から先生方に来ていただき、学部学科の説明・入試説明・体験講義を行っていただきました。大学の講義さながらの授業や、匂いを作る実験、ドローンの仕組みを学習した後に実際にドローンを飛ばしたりなど、頭と手を使って専門的な学問にふれることで進路意識を高めることができました。



大会等の結果

〈高校〉

◆第13回長崎県高等学校新人体育大会 テニス競技長崎地区大会

・男子ダブルス
第3位 2年3組 今里泰地
1年6組 森颯也
第3位 2年6組 大坪勇翔
2年6組 水田瑛心

・女子ダブルス
優勝 2年6組 矢田陽
1年2組 竹内碧彩
第3位 2年1組 塚脇小春
1年3組 江口星花

◆令和6年度長崎県高等学校ソフトテニス選手権島原大会 準優勝

2年6組 宇田川ほのか
1年7組 吉田稟珂

◆令和6年度長崎地区新人体育大会 弓道競技

・男子団体 第2位
・男子個人
第4位 2年2組 濱中真平

◆令和6年度長崎地区新人卓球大会

・女子ダブルス
優勝 1年1組 坂本莉菜
1年4組 新宮藍

・女子シングルス

第3位 1年1組 坂本莉菜
第3位 1年4組 新宮藍

◆令和6年度長崎県高等学校新人体育大会水泳競技

・男子100m背泳ぎ
第1位 1年2組 井上泰我
・男子200m個人メドレー
第3位 1年7組 鈴山瑞稀
・女子200m平泳ぎ
第3位 2年3組 中神佑唯

◆第78回国民スポーツ大会長崎県選手

・柔道競技
3年5組 堀暁登
・テニス競技
2年6組 矢田陽
1年2組 竹内碧彩
・射撃競技
2年2組 執行暁生

〈中学〉

◆令和6年度第32回長崎市中学校学年別卓球大会 中学3年男子
第3位 3年3組 山崎成

◆令和6年度 ころも未来高等学校杯バドミントン選手権大会

・男子ダブルス
第3位 2年1組 小川煌陽
2年2組 古井陽晟

◆第41回NHK杯全国中学校放送コンテスト

・アナウンス部門
入選 3年2組 泉沙良

◆第10回九州小中学生ライフル射撃競技大会 中学生の部

・チームライフル60発競技
第1位 2年3組 中田結菜
第4位 1年3組 相川京大朗

◆2024年度九州ライフル射撃競技選手権大会

・チームライフル少年女子60発競技
第2位 2年3組 中田結菜
・チームライフル少年男子60発競技
第2位 1年3組 相川京大朗

◆令和6年度JOCジュニアオリンピックカップ大会 ライフル射撃競技

・チームライフル60発競技
第6位 2年3組 中田結菜

主な行事 10月

1日(火)	第2回考査4日目(高3)
2日(水)	ひがしチャレンジデー
3日(木)	市中総体(駅伝) フィールドワーク月間 (高 ~11/14)
9日(水)	共通テスト100日前集会 (高3)
10日(木)	沖縄フィールドワーク (高2一部 ~10/13)
11日(金)	文化祭(中)
12日(土)	対外模試進研記述(高3)
15日(火)	教育実習(~10/25)
16日(水)	DV防止講話(高1)
17日(木)	後期専門委員会(高)
18日(金)	長崎市連合音楽会
19日(土)	大学別模試 (高3 ~10/20) 駿台模試(高1・2) PTA研修会
21日(月)	芸術鑑賞会
22日(火)	修学旅行結団式(中3)
23日(水)	長崎東安全の日 東京大学フィールドワーク (高2一部 ~10/24) 修学旅行 (中3 ~10/25) 職場体験(中2 ~10/25) イングリッシュデー(中1)
24日(木)	職業講話(中1)
28日(月)	ベトナムフィールドワーク (高2一部 ~11/2) 教育実習(~11/15)
30日(水)	全校朝会・受納式
31日(木)	フィールドワーク規定日 (高1・2) 離島フィールドワーク (高1・2一部)

校長より

「生徒への感謝」

校長 立木 貴文

今号は“秋の気配が…”と書き始められることを期待していましたが、9月半ばを過ぎてても厳しい暑さが続いています。

長く“九月祭”として開催する長崎東の体育祭。熱中症予防等の観点から時期や場所の選定に長く悩んでの開催でしたが、リーダーである高校3年生の細やかな水分補給の声かけや、職員による休憩のたびのグラウンドへの散水、そして何よりも、生徒一人一人の体調の自己管理、こうしたすべてが相まって、大きな事故なく無事に体育祭を終えることができました。

すべての生徒、職員に感謝です。

今年の体育祭では、“東龍”が生徒有志により5年ぶりに復活しました。平成9(1997)年に長崎くunch踊町である諏訪町の龍と同じ手順で作られたと記録のある本校の東龍。東龍部の活動休止やコロナ禍の影響もあり、体育祭での演技もしばらく途絶えていました。

在校生で唯一、5年前に中学1年生として演技を参観したことのある現高校3年生。彼らを中心に「東龍を、そしてこれまでの伝統を途絶えさせてはならない」と、限られた時間の中で今春から練習を重ねてきたとのことでした。

彼らの思いと行動力に感謝あるのみです。

今の長崎東は、単なる知識・技能の習得や受験学力の獲得にとどまらず、“自ら考え、行動する”という生徒の主体性の確立を目指して様々な教育活動を展開しています。

先日の学校説明会で本校の良さや厳しさを自分の言葉で語ってくれた生徒たち。体調を崩した地域の方を気遣ってくれた生徒たち。紙幅の関係で記すことができませんが、皆さんにご紹介したい本校生徒の姿が数多くあります。

私にとって、こうした生徒たちと時間と空間を共有できることは、とても幸せなことです。日々このような思いを抱かせてくれる長崎東の生徒に、改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。